

2024 年度 盤溪癒しの里山づくり事業活動報告

盤溪癒しの里山づくりプロジェクト委員会

1 活動の拠点

私たちの活動の拠点は、札幌市中心部から約 12 k m の中央区盤溪の約 6.3ha の森林です。樹木構成はトドマツ・カラマツの人工林とシラカンバ・ミズナラ・センノキなどの自然性林から成る針広混交林と、約 1ha の無立木地があります。地形的には尾根部、緩斜面、小河川や 2 か所の湧水地が湿地帯を形成しているなど小規模ながら変化に富んでいます。

また、周辺はスキー場や幼稚園や小学校、学校林などがあり、近年多くの人々が往来しています。

また、採石場などもあり自然環境の保全が課題となる都市近郊林です。

2 活動の経緯

森林所有者は知的障がい者（以下、「利用者」）の支援活動をしている社会福祉法人札幌この実会（以下、「法人」）です。この森林は利用者の健康管理や社会適応力などを目的に一部伐採し、羊の飼育、キノコ、アスパラなどを栽培する森林農場として利用してきました。

しかしながら、2000 年頃、家畜などがクマの被害をうけ放棄されてササの繁茂、林内路網の欠損などにより森林利用が困難な状態になっていました。2013 年法人内で有識者などによる検討会を開催し、マスタープランを作成しました。

このマスタープランの実行にあつては、新聞公募や環境団体の各種行事の参加者から募る森林ボランティアと利用者との共同によることとし、利用者の身心のバランス、地域住民の障がい者の存在認知が促進されるノーマライゼーションを目的とすることとなりました。

また、高齢化社会に対応した、健康維持や交流機会を提供するなどの社会貢献や良好な都市近郊林として、特に当該森林には希少な湿地が 2 か所あり、これらの保全も含め地域環境保全にも寄与することを期待しています。

3 活動の成果

2024 年の主な活動は、貴財団の助成金が主な資金となり、無立木地への植栽活動及び森林観察台の設置活動を主な活動として第 1 回例会を 5 月 22 日開催し延べ 8 回実施したほか、随時入山可能者による森林内の見回りと散策路の補修・下層植生の多様化を目的にしたササ刈り、枯損木・落枝等の集積回収（木質バイオマスの活用）・危険防止の熊柵設置と機能維持のための下草除去作業など、80 日間延べ 308 人（別紙「活動記録」のとおり）で実施しました。活動内容は以下のとおりです。

(1) 里山づくり

- ① シラカンバの苗木 30 本植栽とシカなど獣害防止作業（無立木地の森林化）
- ② ミズナラの山取苗木の採取と移植作業
- ③ 林内の下層植生の発生促進作業（ササ刈り作業）
- ④ 熊柵の設置作業
- ⑤ 森林観察台設置作業

(2) 森林利用

- ⑥ 医療大学教授や医療機関従事者などによる森林と高齢者の精神・身体への影響の数値化の検証
- ⑦ イタヤカエデやシラカンバの樹液採取活動
- ⑧ 風倒木や枯死木の薪や木質バイオマスの生産活動
- ⑨ 地元の幼稚園児の散策と木の実採取などの活動
- ⑩ キタコブシの枝樹皮及びシラカンバの樹皮の活用活動
- ⑪ 木工学習用資材の提供
- ⑫ ガーデニング資材の提供
- ⑬ 親子樹液採取体験会の実施

(3) その他

- ⑭ 老齢過熟で風倒危険のシラカンバ伐倒委託
- ⑮ 施設周辺の雑草処理等環境整理
- ⑯ 外来植物オオハンゴンソウ駆除作業

4 今後の活動方向

森林ボランティアが各々アイデアを持ち寄り、里山づくり 13 年が経過しました。その間ササ刈、伐採・植栽や散策路（せせらぎコースなど 3 コース概ね 1.2 km）・四阿・バイオトイレ・休憩小屋（森の図書館併設）・資機材保管庫などの施設づくりを進めてきました。

この度貴財団の助成金により永年の憧れでありました森林観察台（ツリーデッキ）が、新加入のボランティアの知恵を得て完成しました。

○里山づくり

枯損木の捕植、間伐、風倒木の活用、作業道具の更新や既施設の改良維持を図ります。

○森林利用

今後の活動は、他にあまり見かけない、高所からの森林観察や森林散策、木の実・山菜など森の恵み得る春・夏・秋の各種行事や利用が停滞する冬季間の利用（樹液採取、冬芽観察、冬の動物足跡観察、カンジキウオーキング等）を企画して森林の四季を通じた活動を計画し、地域住民や子供を対象とした活動拠点を提供することとし、

○施設利用者の利用

コロナ禍を契機に、利用者を支援する介護職員の世代交代が当該法人でも顕著になり、森林内での活動経験が少なく入山機会が減少しています。今年初めて実施した利用者の保護者による法人施設のガーデニング資材調達作業（枯死木・枝条などの集積・加工）を今後も実施するほか保護者の森林散策も実施し、介護職員の参加も促して障がい者への森林への関心を高めるための誘導方策として実施することとしております。

2024 年度写真による主な活動の様子

1 里山づくり

○ササ刈り作業



○シラカンバの植栽作業



苗木の仮植



シカ被害防止作業



○森林観察台（ツリーデッキ）設置作用



完成



2 森林活用

○親子森遊び





コクワ採取



○高齢者の森林効果測定



事前打ち合わせ

測定のための高齢参加者へのアンケート実施



高齢者参加者アンケートフォーマット



○森林資源活用（シラカンバの樹皮採取）



対象木選定





○資源提供作業
木工学習資材提供



法人利用者の保護者によるガーデニング資材採取



保護者と施設職員



○冬季活動

イタヤカエデの樹液採取活動





樹液採集用パイプ設置



施設周辺の除雪作業



樹液採取



カンジキウオーキング



四阿付近の散策



尾根コース付近散策



親子樹液採取体験会（未就学児童）



親子樹液採取体験会（就学低学年）



親子樹液採取体験会（就学低学年）

